



特集

認知症にやさしくまちへ

高齢化が進むにつれて認知症の方も増加しています。令和7年には高齢者の5人に1人が認知症という推計もあります。認知症は特別な人になるものではなく、誰もがなる可能性のあるものです。認知症の人とその家族が、住み慣れた場所で安心して暮らし続けられる地域を目指しましょう。

長寿課 ☎ 66-1105



認知症ってどんな病気？

認知症の症状のひとつに、物忘れがありますが、全ての物忘れが認知症だとは限りません。加齢によるもの忘れは、覚えていたことを思い出すまでに時間がかかるようになる症状です。例えば、皆さんは昨日の晩ごはんのメニューを思い出せますか？じつくりさかのぼれば思い出せることは、これにあたります。

一方、認知症によるもの忘れは、新しいことを記憶する力が弱くなる症状です。また、認知症には4種類あり、それぞれ症状も異なります。「認知症だから」と、決めつけないで対応することが大切です。

認知症の種類

脳血管性認知症

脳の血管が詰まる・切れるなどで脳細胞の機能が低下する。

アルツハイマー型認知症

認知症の中で最も多い。脳細胞の働きが少しずつ低下し、脳全体が徐々に縮むことで起こる。

レビー小体型認知症

脳細胞に特殊なたんぱく質がたまったレビー小体が現れることで脳の働きが低下する。

前頭側頭型認知症

脳細胞の働きが少しずつ低下し、中でも前頭葉と側頭葉が目立って縮むことで起こる。

認知症サポーターになろう

認知症サポーターとは、認知症を正しく理解し、本人や家族を地域で温かく見守る応援者です。認知症サポーター養成講座受講者には、サポーターの証のオレンジリングを配布しています。

認知症サポーター養成講座 随時実施中！

対象 市内在住または在勤の方で構成された5人以上のグループ

申し込み 電話で中央地域包括支援センター ☎69-6674へ。

